

Title	多言語社会への対応 : 大阪:1994年
Author(s)	宮島, 達夫
Citation	阪大日本語研究. 1995, 7, p. 1-21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/10528
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

多言語社会への対応 —大阪：1994年—

Adaptating to a Multilingual Society — Osaka 1994

宮 島 達 夫

MIYAZIMA Tatuo

キーワード：多言語社会，大阪，1994年

げんみつな意味では、むかしから日本は単一言語社会ではなかった。(ある程度おおきい社会を単位としてとれば、ほんとうの単一言語状態などというものは、どこにもなかっただろう。)しかし、このところ、急激に多言語状態への変化がめだつ。それも、特定の外国の人がふえたのではなく、アジアや南米を中心に、おおくの国の人が、全国のあらゆる町にみられるようになった。

これに対応して、日本がわも、いろいろと対応策をとっている。それには、国としての施策から、草の根の民間団体にいたるまで、各種のものがあるが、ここでは、大阪でどのような対策がとられているかをみることにした。

ここでのべるような多言語への変化と、それへの対応は、おそらく日本国中でみられるものだが、大阪の特徴は、在日韓国・朝鮮人がおおいことであり、時期的には、この年の9月の関西空港開港が意味をもっている。(ハンゲル・韓国語などの表現は各機関でまちまちで、ここでも、しいて統一していない。)

1994 (平成6)年6月30日現在の大阪府における外国人は

韓国・朝鮮	177,787
中国	18,175
ブラジル	5,581
フィリピン	2,429
米国	2,030
……	
合計	212,825

であり、大阪府総人口8,778,059人の約2.4%にあたる。ただし、在日韓国・朝鮮人のおおくは、第1言語が日本語だろうから、実質的に言語問題をかかえている人口は、1%以下であろう。

調査は1994年12月〔一部1995年1月〕におこなった。おいそがしいなか、調査に協力して下さった各機関の方々にあつくお礼をもうしあげる。

<大阪府>

[大阪府庁]

企画調整部国際室の「外国語パンフレット等調査結果」（1994年12月）によれば、府が作成した外国語パンフレットは、約90点にのぼる。

国際室「大阪府の概要」フランス語・ロシア語・ハンゲル・中国語(1993年)／英語(1994年)

府民情報室「大阪府紹介」フランス語・ロシア語・ハンゲル・インドネシア語(1992年)／中国語(1993年)／英語(1994年)

などは、友好都市のある国の言語、ということが基準になっており、大阪居住の外国人にむけられたものではない。この点は、たとえば

医療対策課「外国人のための診療手引」(1994年)

が英語・ハンゲル・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・タガログ語でかかっているのとは、対照的である。居住者の数からいえば、フランス人・ロシア人よりもブラジル人・フィリピン人のほうが、ずっとおおいのである。英語のパンフレットは、このほか、

統計課「統計おおさか'94」(1994年)

女性政策課「未来に向かって 大阪の女性」(1994年)

下水道課「大阪府の下水道」(1994年)

交通政策課「都市と交通」(1994年)

など、さまざまな部局が発行したものがある。

なお、府の外郭団体・大阪府国際交流財団〔OFIX〕でも、「Your Life in Osaka」という英文の大阪紹介パンフレットを発行している。

〔大阪府外国人相談コーナー〕

1993年9月開設。ここでは、英語のできる相談員は出勤してデスクにいるが、そのほか、ハンゲル・中国語・ポルトガル語・フィリピン・スペイン語・タイ語の「登録相談員」があり、日本語もふくめると、合計8言語で対応していることになる。（ここの案内パンフレットも、これら8言語でかいてある。）登録相談員は自宅または勤務先にいるが、相談をもちこまれると、デスクとのあいだで、<トリオフォン>という、3人がつかえる電話のシステムではなしあう。たまには、ロシア語・アラビア語など、上記以外の言語の例もあるが、そのときには、英語で相手の電話番号をたしかめ、こちらからかけなおす。94年4月～8月の統計をみると、

〔使用言語〕		〔国籍〕	
英語	160	英米	81
ポルトガル語	38	ブラジル	52
中国語	28	中国	57
スペイン語	28	ペルー	30
フィリピン	14	フィリピン	34
ハンゲル	6	韓国	19
タイ語	5	タイ	6
日本語	270	日本	187
		その他	36
		不明	47

となっている。言語と国籍とをくらべると、英米以外の国籍でも英語をつかっている例があり、日本語とともに、英語が共通語としての役割をはたしているようである。外国人の相談なのに日本語がおおいは、友だちなどが、そばにいて、かわりに電話をかけてくるものである。これは、中国人の例がおおい。

〔大阪府警察本部通訳センター〕

ここには、英語・フランス語・韓国語・中国語・タガログ語・タイ語のできる人がおり、事件があって、その言語の必要が生じたばあいに派遣される。必要度のたかいのは中国語、ついて韓国語である。タガログ語は7～8年まえ、タイ語は5～6年まえから、担当者が配置されるようになった。フランス語は、必要性があるというより、たまたま人がいたから、という面がつよい。1994年

には、『警察官のための通訳ハンドブック』を編集してくばった。これは、日本語・英語・韓国語・中国語対訳の会話集で、韓国語・中国語にはカタカナで発音がつけてある。最初に4言語で「私は、この欄の言葉を話すことができます」という文をしめして、言語を確認し、以下、用件ごとに会話の実例をあげたものである。警察学校でも、これらの言語の授業がある。まえからあった英語にくわえて、1993年からは、韓国語・中国語の教員が配置され、タガログ語・タイ語は通訳センターの担当者が派遣されておしえる態勢をとっている。なお、外国の警察との書きことばによる連絡には、韓国・中国をふくめて、英語をつかっている。

[大阪紹介29言語リーフレット]

大阪府・大阪市・大阪商工会議所が関西空港開港を記念して共同で作成した、新聞紙大の1枚ものリーフレットである。大部分は英語による大阪の案内と広告で、これは共通だが、関西空港への乗り入れ予定44ヶ国の主要言語28＋スワヒリ語で、かんたんな大阪紹介とあいさつをのせた部分があり、けっきょく29種類のリーフレットができるわけである。(8月17日現在、23言語の分が完成。)言語名と入国割合(%)のたかいものは、つぎのとおり。ただし、入国割合は、関西空港のものではなく、1993年の日本全国のものである。

ハンゲル	28.4	英語	25.8	中国語	24.9
フランス語	3.5	フィリピン語	3.1	タイ語	2.5
ドイツ語	2.3	ポルトガル語	2.1	マレー語	1.6
イタリア語	1.1				

以下、インドネシア語・ロシア語・スペイン語・ヒンディー語・オランダ語・スウェーデン語・デンマーク語・フィンランド語・シンハラ語・ノルウェー語・トルコ語・ベンガル語・ベトナム語・アラビア語・マジャール語・ポーランド語・ネパール語・モンゴル語とつづく。部数は、英語10万、ハンゲル・中国語各3万、ほかは500～1000部で、関西空港やJ R西日本・南海電鉄などの案内所で配付している。なお、ハンゲルと中国語の版については、現在英語になっている案内・広告の部分も、これらの言語におきかえる予定、という。

スワヒリ語版

Karibu Osaka

アラビア語版

مرحباً بكم في أوساكا

ベンガル語版

ওসাকায় আপনাকে স্বাগতম

タイ語版

ยินดีต้อนรับสู่เมือง โอซาก้า

シンハラ語版

සියන නගරය ඔබ සැම සාදරයෙන් පිළිගනී

අවමන් ගන්වියේ උද්දය වන සියන නගරය, දශ ලක්ෂ 8.7 ක්ෂ
යුජ් රහතගනයක් ඇති සියන නගරය පවිත්‍රයේ භා නවනවයේ
සංඝයාණි. එය පුරාණයේ සිට වර්තමානය දක්වා නොනැවී පවතින
උදය වාණිජ පවිත්‍රයාගේ සිව්සවී කියයි.

HAJIMEMASHITE ආයුබෝවන්
はじめまして
OMENIKAKARETE URESHIIDESU සැනසීම්බට උඹට සැවිටි
おめにかかれてうれしいです
YOKU IRASSHAIMASHITA..... සිනෙි රැවිණි ආදරයෙන් පිළිගනිමි
よくいらっしゃいました

【多言語リーフレット】

<大阪市>

[大阪市役所]

国際交流課「大阪市政概要」の英語版は、1951年が最初である。一方、大阪紹介のビデオがあり、英語版は1986年からだが、その9言語版を1989年に作成した。英語・ハングル・中国語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語の9つである。1992年以降は、「大阪市政概要」の9言語版もつくっている。これらの言語は、姉妹都市・姉妹港のある国のことば、という基準でえらんだものである。

一方、国際交流課では居住者を対象とした、日本語と外国語対訳の生活案内もだしている（英語名「Enjoy Osaka」、中国語名「大阪——生活的享受地」）。こちらは、英語・ハングル・中国語（1992年）、スペイン語・ポルトガル語（1993年）であって、言語選択の基準が「市政概要」とはちがう。

このほかの部局でも、それぞれに関係のある外国語パンフレットを発行している。たとえば、貿易観光課では「大阪」というパンフレットをつくっている（1991年）が、これは外国の企業むけであり、英語・ハングル・中国語・ドイツ語・フランス語という言語の選択も、その中国語が繁体字でかいてあることも、この目的にあうものである。道路課の「関西空港案内」は、とりあえず、1994年に英語・ハングル・ドイツ語・フランス語の版をつくり、次年度以降中国語などもつくる予定である。

実際に居住外国人と接するのは、各区役所である。港区は、人材あっせん業者がいるため、大阪市でブラジル人の数がいちばんおおい区であるが、窓口で、ことばの問題がおきることはない、という。たいていは、企業の人がついてくるからである。

[大阪国際交流センター]

ここは、大阪市の外郭団体で、国際交流のための情報提供をおこなっている。ここでは日本語・英語による相談窓口が1987年9月の開所以来あったが、1994年4月には「インフォメーション・プラザ・オオサカ」が開設され、大阪府の外国人相談コーナーと同様の相談に応じている。言語数は、やはり8で、府にくらべてフィリピンのかわりにインドネシア語がはいっている。英語は職員、

韓国朝鮮語と中国語は臨時雇いの人、その他の言語については無給のボランティアが対応している。94年4月～10月の使用言語は、

英語	569	韓国朝鮮語	44	中国語	106	ポルトガル語	18
インドネシア語	7	スペイン語	30	タイ語	7	日本語	154

である。

[教育委員会]

帰国・来日して日本語が不自由な子どものために、小学校・中学校各4校を「センター校」として、日本語の補習授業を実施している（1985年度から）。子どもたちは、それぞれ居住地区の学校に通学するとともに、週に何回かセンター校の日本語クラスにかようわけである。クラスの子どもの数はすくないが、わたしの訪問した阿倍野区の長池小学校では、このための日本語教科書・練習帳を編集していた。

各学校には、外国語でかいた「お知らせ」がくばっており、必要に応じてコピーして父兄にわたすようになっている（1994年度から）。1995年には、ハンゲル・中国語・フィリピン・英語・スペイン語・ポルトガル語のお知らせがそろわずである。内容は、学校で必要とされる費用、入学式・運動会などの学校行事、夏休み・冬休み、検診や予防接種の通知などである。

<府下地方自治体>

阪急宝塚線にそって、豊中市・池田市があり、その延長上に豊能町・能勢町がある。以下、これらの自治体についてのべる。

[豊中市]

ここは、国際化への対応に熱心である。大阪大学の豊中キャンパスがあって留学生がおおいこと、市の南部（庄内付近）のアパートに外国人労働者がすんでいること、などのためである。

市役所の各室の位置をしめした案内図や各部署の表札に英語の訳がかいてあるのは、めずらしくないが、ここでは、日本語・英語にくわえて、ハンゲル・

家长 _____

学校 _____

尿検査通知

年 月 日

进行尿检，检查肾脏的功能。

1. 检查日期

(起床后立即采尿送来的日)

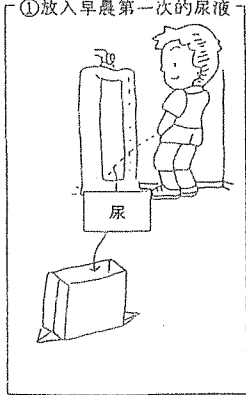
月 日 (星期)

如果这一天忘记了,

月 日 (星期)

4. 采尿的方法

①放入早晨第一次的尿液



A los padres _____

AVISO DE EXAMEN DE

REALIZA EL EXAMEN DE Y FUNCIONAMIENTO C

1. Día del examen.
(día de traer la orina,
a la hora de levantarse
orinar y conservar la
orina).

2. Análisis
Album

Mes _____ Día _____ ()

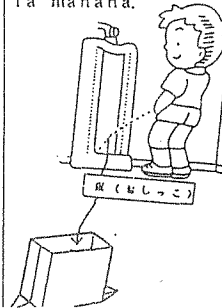
3. Objeto
- Saber
del r
posit
análisi
- Saber
o no.

en caso de olvidarlo

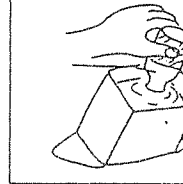
Mes _____ Día _____ ()

4. Modo de recolectar la orina.

①Recolectar la
primera orina de
la mañana.



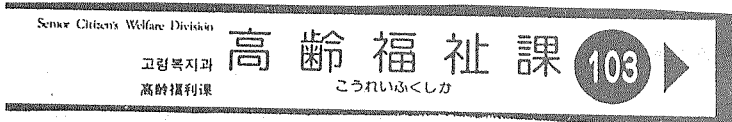
②Depositar
orina en la
bolsa hasta
nivel marcado
con una línea



5. Atención
- Un día ante
comer dulce

【尿検査のお知らせ】

中国語の名称もかいてあり、合計4言語の表示がしてある。日本語には、ひらがなでルビがふってある。これは、第2庁舎ができた1992（平成4）年以後のことだという。



豊中市では、市街地図を英語・ハングル・中国語でだしている。ただ、英語・ハングルでは地名の表記が不明で、中国語版では読みがわからない、というところに問題があるようだ。日本語では、表記と読みとを、ともにしらなければ、完全には役にたたないのである。このほか、外国語の文献としては、「豊中市市勢要覧」（日英対訳）、市の紹介「Vibrant Toyonaka」や日英ハ中4言語の「豊中市非核平和都市宣言」などがある。

豊中市には、外郭団体として、財団法人<とよなか国際交流協会>があり、<とよなか国際交流センター>を運営している（1993年11月以降）。ここでは、外国人のための日本語教室を開設するとともに、外国人留学生によるハングル・中国語・インドネシア語などの講習会や、外国人のための相談窓口をひらいている。

[池田市]

ここは、オーストラリア・中国の都市と姉妹都市・友好都市の関係をむすんでおり、そのため英語・中国語のパンフレットをつくっている。最初は、市制50周年を記念して、1989年に発行した『池田50年』という写真集である。『池田市勢要覧』『IKEDA CITY GUIDE』などにも、英語・中国語を併記している。また、『グラフいけだ』という、大判の地図と施設の紹介があり、これは、日本語版と英語版・中国語版がべつになっている。ただし、説明は訳してあるが、地図の面にある地名・施設名などは、日本語表記のままである点が、豊中のとちがう。

〔豊能町・能勢町〕

これらの町にも少数の外国人はいるが、とくに問題となることはなく、そのための対策というものもない。外国人の児童も、すべて日本そだちで、学校での問題もない。

<交通機関>

路線図や駅構内案内図にローマ字をいれる、といった処置は、各線とも、すくなくとも主要駅ではとられている。会話の面では、大体はかんたんな地名の指示と身振りですむので、とくに外国語に堪能な駅員をおく必要は、すくないようである。

〔大阪市交通局〕

地下鉄車内の英語放送については、1992（平成4）年7月28日づけの通知がある。以下、同通知の一部を引用する。

地下鉄駅構内の案内表示へのローマ字併記はすでに行っており、また、昭和45年に大阪・千里で開催された「万国博覧会」の開催期間中には御堂筋線の主要駅5駅（新大阪・梅田・淀屋橋・なんば・天王寺）で、平成2年に大阪・鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会」を契機に、鶴見緑地線の車内（花の万博期間中のみ）および全駅で英語放送を実施しましたが、地下鉄全列車で行うのは今回が初めてです。

なお、英語の車内放送は、仙台市や名古屋市、京都市、福岡市の地下鉄、JR新幹線などですでに行われています。

放送の内容は、

This train is bound for ○○.

The next station is ○○.

"○○" station. This is the final stop. Thank you for taking the Subway.

Please change here for the ○○ and △△ lines.

などである。

英語併記の路線図は、大阪港で帆船まつりがあった1983年、ハングル併記のものは1994年に作成。職員用に「英会話の手引」（1990年3月）というパンフレッ

トをつくっている。

<改築札付近で>

- 。すみません、乗車券を取って下さい。

簡単に

プリーク オイフ テキケツ
Please take ticket.

正式には (Please take your ticket.)

- 。すみません、乗車券を拝見します。

簡単に

エクスミエ イー オイフ ト プリーク
(Excuse me,) Ticket, please.

正式には (Excuse me, would you please
show me your ticket?)

なお、大阪以前に英語の車内放送を実施していた各地地下鉄の状況は、つぎのとおり。

福岡： 1988（昭和63）年11月に開始、1995年度から自動券売機に英語表記導入の予定。

名古屋： 1989（平成元）年7月に開始。（世界デザイン博覧会開催時）

京都： 1989（平成元）年10月に開始。バスは1988年から実施している。

[近鉄]

新型特急では、車内のディスプレイの英語駅名表示を導入中。駅名の英文表示は1989年以後。英文の路線図（兼沿線案内、1988年）があるほか、'KINTETSU' という英文パンフレットがある。これは、1959年ごろ、社長が外遊するときにつくったもので、それ以後も、国内というよりは、外国向けの用途がおおい。

[京阪電鉄]

英語・ハンゲル・中国語で、それぞれ1枚の沿線観光案内がある。車内放送はしていないが、車内の路線案内図にも、ローマ字表記と、ひらがなルビがついている。

〔JR西日本〕

新幹線での駅名案内放送は1961年以来である（液晶画面でニュースをながしているのは、JR東海だけ）。ほかでは関西空港への「はるか」の一部の車両で、女性車掌が肉声で英語の駅名案内をしている。英語による案内放送は関西空港・京都・りんくうタウンの各駅でもやっている。1994年には、英文のパンフレットを作成した。

〔南海電鉄〕

英語の駅名案内放送は、特急「こうや」（1983～）・特急「ラピート」（1994～）で実施。

〔阪急電鉄〕

英文の案内には、つぎのようなものがあり、みな路線図をかねている。沿線案内・梅田周辺案内図(1989)・のりこし清算機使用説明(1991)。関西空港開港の1994年には、英文の運賃表（梅田・三宮・河原町・宝塚の各駅）・構内案内図（梅田）・空港バス誘導看板（梅田付近）を設置した。梅田駅のインフォメーション・センターには、英語のできる職員を配置してある。

〔阪神電鉄〕

車内のポスター「乗客の皆様へのお願い」を英語と日本語で併記(1989)。ドア上のLED（発光ダイオード）による駅名案内を日英で交互に表示(1991)。駅では、到着・出発などのLEDによる案内表示を日英で交互に表示(1989)。三宮駅(1985～)・梅田駅(1986～)の総合案内所に英語で対応できる駅員を配置してある。バスのうち、関西空港線(1994～)・大阪空港線（かなりまえから）では、英語の案内放送・表示を実施。

〔モノレール〕

英語のパンフレットは開業時(1990)に作成。英語による駅名アナウンスは1994年から。

<デパート>

まとめると、つぎのようになる。?は使用開始時期不明のもの。

	英語	ハングル	中国	フランス	ドイツ	スペイン	イタリア	ロシア	タイ
近鉄(上本町)	1985?	-	-	-	-	-	-	-	-
近鉄(阿倍野)	?	1994	1994(繁)	-	-	-	-	-	-
そごう	?	1994	1990(簡)	-	-	-	-	-	-
大丸(梅田)	1983	1990	1990(簡)	1990	-	-	-	-	1994
大丸(心斎橋)	?	1992	1992(繁)	-	-	-	-	-	-
タカシマヤ	1983?	1990	1990(簡)	1990	1990	1990	1990	-	-
阪急	1970	1990	1990(繁)	1990	1990	1990	1990	1990	-
阪神	1994	1994	1994(繁)	1994	-	-	-	-	-
松坂屋	1990	-	-	-	-	-	-	-	-
三越	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[大丸(梅田)]

開店したのは1983年3月であるが、そのときから、日本語と英語の説明をいれた案内をつくっている。ただし、90年3月～91年3月には、<花博>にあわせて、日本語・英語・フランス語・中国語(簡体字)・ハングルの5言語のものをつくった。94年8月からは、関西空港の開港をきっかけに、日英両言語の「店内ご案内」と、フランス語・中国語(簡体字)・ハングル・タイ語の4言語の案内と、2種類をつかっている。

[タカシマヤ]

各階の地図のはいった「TAKASHIMAYA STORE GUIDE」という1枚両面の案内がある。また「TAKASHIMAYA GUIDE Japanese/English/French/German/Spanish/Italian/Chinese/Korean」という8言語のパンフレットもある。表は、各階にどんな売場があるかを8言語でかいてあり、裏は英語だけで各階の地図になっている。1990年から簡体字、1994年から繁体字、と中国語について両様の表記を使用している。

[阪急]

英語など8言語の、それぞれ1枚ずつの案内がある。英語のは1970年の万博

<p>オフィス Office Bureaux Büro Oficina l'ufficio 辦公室 사무실</p>	5F
<p>美容室 BEAUTY Salon Coiffeur - Studio de photographie Frisiersalon - Fotostudio Peluquería - Salón de fotos la parchiera - li fotografo 美容院・照相館 미용실・사진실</p>	4F
<p>北京料理「五色園」 Chinese Restaurant "GOSHIKI-EN" Restaurant Pekinois "GOSHOKUEN" Pekinrestaurant "Goshikien" Restaurante china "Goshiki-en" Ristorante Cinese (Pechinese) 北京料理「五色園」 북경요리「고시키엔」</p>	3F
<p>ティーサロン&バー「サロンローズ」 Tea Salon & Bar "Salon Rose" Restaurant "ROSE ROOM" - Salon de thé et bar "SALON ROSE" Restaurant "Rose Room" - Café & Bar "Salon Rose" Restaurante "Rose" - Salon de té y bar "Salon Rose" Ristorante (Rose Room) - Cafe e bar 餐廳「玫瑰房」・茶室、酒吧「沙龍玫瑰」 레스토랑「로즈 룸」・티 사롱 & 바「사롱 로즈」</p>	2F
<p>タカシマヤリトルカレッジ Takashimaya Little College Petit collège TAKASHIMAYA Takashimaya little College Colegio "Takashimaya little college" Sara di ricreazione 高島屋 小車房 다카시마야 리틀칼리지</p>	1F

のころかららしい。ハングル以下7言語のは、1990年の花博開催時に作成。

<博物館・美術館・公園など>

英語のパンフレットをもっている博物館・美術館は、比較のおおく、ハングルや中国語のものもある。(市立美術館のは、日本語のパンフレットのの一部に英文の説明がある、という形式のものである。)英語の作成年代順にならべると、

	英語	ハングル	中国語
交通科学博物館	1970	-	-
国立民族博物館	1977	-	-
大阪市立美術館	1980?	-	-
大阪市立東洋陶磁美術館	1982?	-	-
大阪市立自然史博物館	1987	-	-
大阪市立博物館	1989	1993	1993
大阪市立科学館	1989	1990	-
国立国際美術館	1989	-	-
逸翁美術館	1993	-	-

公園などの施設も、外国語のパンフレットをもっているところがある。海遊館は天保山ハーバービレッジのなかにある水族館、ピースおおさか(大阪国際平和センター)は戦争体験をつたえるための展示館である。

	英語	ハングル	中国語	フランス語
四天王寺	1970?	-	-	-
万博公園	1975	-	-	-
大阪城	1983	-	-	-
枚方公園菊人形展	1984?	1994	1994(繁)	-
四天王寺宝物館	1989	-	-	-
天保山ハーバービレッジ	1990	1991?	1991?(繁)	1991?
海遊館	1990	1991?	1991?(繁)	1991?
ピースおおさか	1991	1991	1991(繁)	-
天王寺公園	?	-	-	-

<ホテル>

大阪市内のいくつかのホテルをえらび、下記の項目についてのアンケート調査をした。

ホテル紹介のパンフレットで外国語のものが、いつからあるか。

各室備え付けのホテル案内で外国語のものが、いつからあるか。

英語以外の外国語に堪能な従業員がいるか。

結果は、つぎのとおりである。(英語パンフレットの作成順。)

	[ホテル紹介]			[室内備え付け]			可能な外国語
	英	朝	中	英	朝	中	
ロイヤルホテル	1935	1994	1994	1935	-	-	中・朝・仏・西
大阪グランドホテル	1958	1985	1985	1958	1985	1985	
ホテルプラザ	1969	-	-	1969	-	-	中
大阪東急ホテル	1979	-	-	1979	-	-	
ホテルイン南海大阪	1979	-	-	1979	-	-	
大阪ターミナルホテル	1983	-	-	1983	-	-	
大阪全日空ホテル	1984	1992	-	1984	-	-	独
都ホテル大阪	1985	-	-	1985	-	-	独
大阪ヒルトン	1986	-	-	1986	-	-	中・独・仏
ホテルニューオーグニ大阪	1986	-	-	1986	-	-	中・朝・仏・西
南海カスターホテル	1990	-	-	1990	-	-	
千里阪急ホテル	1993	-	-	1993	-	-	広東
東洋ホテル	1994	1994	1994	1984	-	-	中
ホテル日航大阪	1982	1994	1994	1982	-	-	中・仏

ロイヤルホテルには、ドイツ語・フランス語の紹介パンフレットもある。

<店名>

以下にしめすのは、商店街の店名の言語についての調査結果である。場所は、繁華街として心斎橋、在日韓国・朝鮮人がおおくてハンゲルがありそうな鶴橋、それに、中心地をはなれた、ややふるいタイプとして池田市のアーケード街である。くわしくいうと、

心斎橋：そごう北側の通りから戎橋まで。ただし、東側の店だけ。

鶴橋：千日前通りから1本南にはいった6班通りと4班通り、および、その南の7班通りと3班通り。

池田1：池田駅東側のアーケード街のうち、駅にちかい1番街。

池田2：おなじく、駅からとおい2番街。

調査範囲には、ほとんどなかったが、会社の事務所や銀行は対象としない。店も、1階にあるものだけで、2階以上は無視する。

店名は、壁や看板など、いつも表示されているものにかぎり、旗などで臨時にしめたものは対象としない。対象とするのは、店名だけで、「千客万来」の類は無視する。ただし、種類をしめず部分は店名とかがえる。「ランドリー・TANAKA」は、日本語+英語である。

店名を<日本語><英語><ハングル>の3つにわけると。ただし<日本語>は漢字・かなのもの、<英語>はローマ字がきものを意味する。(フランス語など、ほかの言語も、また、人名その他あきらかに日本語の表記であっても、ローマ字がきであれば、<英語>にふくめる。)

結果は、つぎのとおり。「外」としたのは、日本語をふくまないものである。

	日	日英	英	日ハ	日英ハ	「外」の比率
[心齋橋]	31	42	36	-	-	0.72
[鶴橋]	39	35	7	4	1	0.55
[池田1]	18	23	2	-	-	0.58
[池田2]	33	9	1	-	-	0.23
計	121	109	46	4	1	0.57

である。駅からとおい池田2での外国語の比率が、駅にちかい池田1よりもひくいことに注目していただきたい。鶴橋についても、ここで調査しなかった、もっとJRの駅からとおい地点では、外国語がへる。これは、心齋橋→鶴橋→池田、と外国語がへる傾向と、おなじ現象である。

ところで、店の名まえは、店の種類によって左右される。すし屋・そば屋よりも、洋風のレストランのほうが、ローマ字表記される率はたかはずだ。それで、店を<和><洋><和洋>などに分類して表記をみた。<和洋>というものは、和か洋かに分類しにくいものである。例をあげよう。

- 和： ふとん、呉服、雑貨、線香、昆布、茶、和菓子、甘味喫茶
 洋： くつ、洋品、時計、めがね、カメラ、かばん、バッグ、ゲームセンター、薬局、ケーキ、ハンバーガーショップ
 和洋： 毛糸、下着、陶器、古書、カラオケ、パチンコ
 朝韓： 朝鮮・韓国民族衣裳

4 地点の合計は、

	日	日英	英	日ハ	日英ハ	「外」の比率
和風	44	4	1	0	0	0.10
洋風	58	87	40	0	0	0.69
和洋	11	13	5	0	0	0.62
韓朝	8	5	0	4	1	0.56
計	121	109	46	4	1	0.57

である。＜洋風＞と＜和洋＞とのあいだには、あまり差がない。純粋に和風のものは日本語表記、というのが確実にいえる傾向である。朝鮮の民族衣裳をあつかっている店でも、ハンゲル表記は、意外にすくないようである。地点ごとのうちわけを下にしめす。

	日	日英	英	日ハ	日英ハ
〔心齋橋〕					
和風	15	0	0	-	-
洋風	15	39	31	-	-
和洋	1	3	5	-	-
〔鶴橋〕					
和風	4	3	1	0	0
洋風	25	26	6	0	0
和洋	2	1	0	0	0
韓朝	8	5	0	4	1

〔池田1〕

和風	10	1	0	-	-
洋風	6	15	2	-	-
和洋	2	7	0	-	-

〔池田2〕

和風	15	0	0	-	-
洋風	12	7	1	-	-
和洋	6	2	0	-	-

店名の外国語、とくに英語をはじめヨーロッパ諸語の使用は、うえにのべてきた多言語社会への対応のための外国語使用とは、たぶん意味がちがうだろう。それは、日本語のわからない外国人のためではなく、日本人に高級なイメージをもたせるのが主目的であって、日本人のお客が読んで理解するかどうかは、あまり関係ないものとおもわれる。

ところで、大阪には東京の秋葉原にあたる日本橋の電気街というのがあり、外国人の客もおおいが、店の大部分は、日本語と英語の表記で、格別変わった点はない。しかし、数軒ある免税店では、さすがに、店内にハンブル・中国語

・ポルトガル語などの説明がめだつ。これは店の問題ではなく、メーカーの方針だが、ビデオカメラやカラオケセットのパンフレットに、英語や中国語だけでなく、アラビア語やロシア語のものもあるのには、おどろいた。店頭に、「いらっしゃいませ」を15の言語でかいた店や、店員に中国人を採用しているところもある。右にあげたのは、免税店のチラシである。

The largest DUTY FREE SHOP in Osaka!
We have a huge display of the best
electric appliances for overseas use.

本店是大阪最大的、品种最齐全的电器商店。顾客
在本店不仅能买到向中国使用的产品、而且本店还
可以把货物直送到中国。

A loja mais completa em aparelhos eletro
eletricos para exportação, os melhores
preços.

전기제품을 취급하고 있는 오사카(여관)
에서 제일 큰 면세점입니다. 산 가격으로
친절하게 안내 해 드립니다.

〔まとめ〕

以上記述してきた事実を要約し、若干の注釈をつけておく。

1. ある時期まで、おおきな組織での外国語使用は、上のほうの〈国際親善〉だった。外国の友好都市との関係で、豪華な案内書をつくる、社長の外遊にあわせて英語のパンフレットを編集するなど。しかし、いまは、もっと下のレベル、日本国内における居住者・観光客の問題になっている。中国語は、公的機関では簡体字で表記されるが、デパートなどで「中国語〈台湾〉」と注記して繁体字をつかうことがあるのも、外国語が現実的な問題になった結果である。
2. 対策は、万博・花博・関西空港開港など、なにかのできごとをきっかけにして、とられることがおおい。
3. ただし、それが、実際に役だつかどうかは問題である。関西空港の開港にあわせてつくった29言語のパンフレットは、はじめから、あまり実用をめざしていなかっただろう。それは、店名や雑誌の表題の英語とおなじ、気分の問題である。対応策がどんな効果をうんでいるかは、客観的に測定すべきである。
4. 対応策そのものが、多言語状況をつくりだしている。すなわち、一般市民がいやおうなく外国語を目にし、耳にすることになる。これは、かならずしもプラスとはいえない。外国語の案内・地図などのパンフレットを用意しておいて、要求に応じてくばるのは、関係ない人には、どうでもいい。しかし、駅や役所の掲示に外国語訳をつければ、これをみる人の目に、うつる。さらに、外国語のアナウンスは、すべての人の耳に、いやおうなしにとびこんでくる。つまり、これは、必要としない人にも、多言語状況を強制することになる。

この調査の中心的な目的は、資料の収集である。ある外国語のパンフレットがいつつくられたか、といったことは、すぐに、わからなくなる。数年まえのことでも、不たしかな記憶にたよらなければならないばあいがある。したがって、何年かおきに、同様の調査を（しかも、日本の各地で）実施することがのぞましい。

この調査は、科学研究費（創成的基礎研究費）による研究「国際社会における日本語についての総合的研究」（代表：水谷修）の一部である。

〔あとがき〕

ここで記述した〈対応〉は、とらえやすい部門を主としており、草の根の動きを知るには、不十分である。この調査の直後、1995年1月17日に発生した阪神大震災では、在日の外国人も、おおくの被害をうけた。新聞の報道によれば、大阪でも、大阪府国際交流財団・八尾市国際交流センター・箕面市国際交流協会・外国人被災民救援活動実行委員会とよなか・河内長野市国際交流協会などが外国人避難先のあっせんをしているが、このような救援活動のなかで、言語の問題もおこったはずである。大阪外国語大学のボランティアグループが手話をふくめて17言語の通訳、関西翻訳協会が52言語の無料翻訳などの奉仕をしたという。大阪市中央区では「外国人地震情報センター」が開設され、100人以上の人が十余ヶ国語による電話相談とニュースレターの発行を開始した。（『週刊金曜日』2月24日号）もちろん、報道されていない、外国語を通じての努力が、数多くあったにちがいないし、そのような活動は、震災のときにかぎらず、日常的につづけられてきたものだろう。神戸市長田区の韓国民団西神戸支部に開設されたミニFM「ヨボセヨ」は、大阪市生野区で在日の人たち向けにFM放送をしてきた「サランFM」のメンバーが機材をはこんできて、できたものである。（『日刊スポーツ』2月9日号）

（みやじま たつお 文学部教授）